

## 2.3 パソコン等O A 機器リユース・リサイクル施設

### (1) 事業の概要

「資源の有効な利用の促進に関する法律」(資源有効利用促進法)により、事業系のパソコンの回収・再資源化が義務づけられたため、その受け皿としてパソコン等のリユース・リサイクルを行う。

昨今の最終処分場の逼迫、環境負荷の軽減の考え方から、まず、リユースを行い、リサイクルにあたっては、極力、素材として再利用する。

また、NPO法人と連携した事業を展開する。

平成14年10月から試験操業を行っており、平成17年度に本格的な事業展開を図るものである。

### (2) 事業の特徴

回収したパソコン等を産業廃棄物の中間処理として手分解・手解体により再資源化を行い、95%という高い素材リサイクル率を達成する。資源有効利用促進法の目標再資源化率(50~55%)を大きく上回るリサイクル率を確保する。

回収されるパソコン等のうち市場価値のあるものについては、データ消去、修理(リペア)を行い、その状態でリユースする。

県内のNPO法人と連携し、工場内に併設する工房(e-co房ぷらっと)において、リユースパソコンを使ったパソコン教室等の開催、パソコンの修理、アップグレードの指導・支援、リユースパソコン活用の啓発活動や分別後素材を使った工作教室の開催等の市民参加型のリサイクルを推進していく。

選別後の基板に含まれる貴金属については自社の精錬工場にて貴金属リサイクルを行い、金、銀、白金等を回収する。

### (3) 事業内容

事業主体：アサヒプリテック(株)

廃棄物の種類：パソコン 2.8万台/年(現行3千台/年を平成17年度に拡充)

リサイクル製品とその用途

- a. リユースパソコン・・・パソコンとして再使用
- b. ブラウン管ガラス・・・ガラス原料として利用
- c. 鉄・・・・・・・・・・電炉業者にて利用
- d. プラスチック・・・・・・・・プラスチック原料メーカーにて利用
- e. 銅・・・・・・・・・・銅精錬原料として外販
- f. 基板中の貴金属・・・貴金属原料として回収

### 土地及び工場の規模

- a . 実施場所：兵庫県尼崎市大高洲町 4 - 2
- b . 敷地面積：3,300m<sup>2</sup>
- c . 建物面積： 700m<sup>2</sup>
- d . 施設規模：3 t / 日

### 効果

10名の直接雇用を創出する。

パソコンを構成する各素材（ガラス、鉄、プラスチック等）を再利用でき、さらに貴金属の回収が可能となる。

総事業費：約1億円

### 事業実施計画

事業開始年月 平成 14 年 10 月 試験操業開始  
施設本格稼働予定年度 平成 17 年度 本格操業

### フロー図

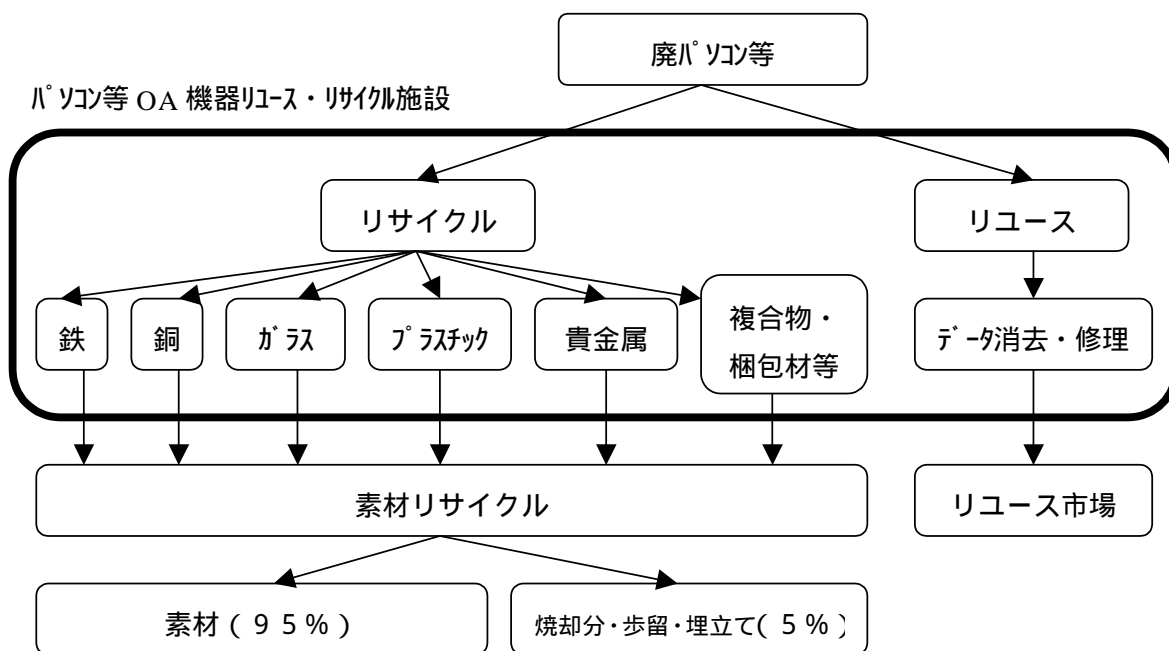


図2-3 パソコン等OA機器リユース・リサイクル施設の基本フロー

### (4)その他

回収、排出等の物流ルートについては、既存のリサイクル事業で産業廃棄物収集運搬業の許可を47都道府県53保健所設置市で取得するなど、兵庫県（神戸市）を中心にした全国にわたる物流ネットワークを保有しており、これを活用した受け入れを行う。